

## 【失語症のある神経疾患】の【検査・治療】のために

### 当院に入院・通院していた

### 患者さんの診療情報を用いた臨床研究に対するご協力をお願い

このたび当院では、上記のご病気で入院・通院されていた患者さんの診療情報を用いた下記の研究を実施いたしますので、ご協力をお願いいたします。この研究を実施することによる患者さんへの新たな負担は一切ありません。また患者さんのプライバシー保護については最善を尽くします。本研究への協力を望まれない患者さんは、その旨、大槻美佳までご連絡をお願いします。

#### 1 対象となる方

【失語症のある神経疾患】の【検査・治療】のため【通院または入院】した方

#### 2 研究課題名

深層学習による発語障害および失語症の分析

#### 3 研究実施機関

北海道大学

#### 4 本研究の意義、目的、方法

最近、失語症を主徴とする神経変性疾患の存在が明らかとなり、言語障害を適切に分析することの重要性が増しつつあります。しかし、非専門家にとって言語障害を分析するのは必ずしも容易ではありません。本研究では、言語障害のある患者さんから音声を提供いただき、その音声を研究責任者および研究分担者が分類し、そのデータに基づいて医療AIを開発することを目的としています。医療AIが完成すれば、言語障害のある神経変性疾患や脳血管障害の患者の診療に貢献できるものと考えています。

本研究では、1992年1月～研究承認日までに大槻美佳または赤池瞬の診察で受けた神経心理検査の成績および音声データを使用させていただきます。

#### 5 協力をお願いする内容

本研究では患者さんの診療内容を確認し、必要な項目のみを抽出して、上に挙げたような解析に使用させていただきます。そのため患者様には治療以外の余計な費用はかからず、追加の検査などが施行されることもないため、一切のご負担はございません。

#### 6 本研究の実施期間

倫理委員会承認後～2027年3月31日（予定）

#### 7 プライバシーの保護について

- 1) 本研究で取り扱う患者さんの個人情報、氏名と患者番号のみです。その他の個人情報（住所、電話番号など）は一切取り扱いません。
- 2) 本研究で取り扱う患者さんの診療情報は、個人情報をすべて削除し、第三者にはどなたのものかわからないデータ（匿名化データ）として使用します。
- 3) 患者さんの個人情報と匿名化データを結びつける情報（連結情報）は、本研究の個人情報管理者が研究終了まで厳重に管理し、研究の実施に必要な場合のみに参照します。また、研究終了時に完全に抹消します。
- 4) なお連結情報は当院内のみで管理し、他の共同研究機関等には一切公開いたしません。

## 8. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究結果を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて、対象者の方にご了承いただけない場合には研究対象としますので、2025年3月31日までに下記の連絡先までお申出ください。その場合でも対象者の方に不利益が生じることはありません。ご連絡をいただかなかった場合、ご了承いただいたものとさせていただきます。研究の成果は、あなたの氏名等の個人情報が明らかにならないようにしたうえで、学会発表や学術雑誌等で公表します。なお、あなたへの謝金はございません。この研究についてわからないことや聞きたいこと、何か心配なことがありましたら、下記の連絡先までお問い合わせください。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先:

〒060-0812 札幌市北区北 12 条西 5 丁目

研究責任者:北海道大学大学院保健科学研究院 准教授 大槻美佳

TEL:011-716-2111 (北海道大学代表)

E-mail:lasteroideb612@pop.med.hokudai.ac.jp